

レモンの栽培管理（9月）

○9月の施肥は行いましたか？

9月は追肥を行う月です。I B化成肥料などを未収穫樹（幼木）は1樹あたり70～100g、収穫樹（成木）は300～400g、樹のまわりにまきましよう。

○カタツムリ類の発生に注意しましょう。

9月以降は降雨が増えるため、カタツムリ類の発生が増加します。果実が未熟（緑色）な時は、枝葉に寄生していますが、果実が熟してくると（黄色味を帯びてくると）、果皮を食害するようになります。

果実の被害は致命的な品質低下ですので、防除を徹底しましょう。



カタツムリ類と果実の被害

(1) 農薬を使用しない防除・予防

- ① 捕殺する ② レモンの樹の下・周辺を片付ける（隠れられる場所を減らす）

(2) 農薬を利用する防除

①メタルデヒド水和剤

（商品名：「マイキラー」・「マイキラーL」・「ナメククリーン3」）の利用

【マイキラー】（劇物）

○薬剤に触れると速やかに脱水状態になり、活動を停止します。

○接触毒作用に優れ、誘引作用もあります。

○カタツムリ類が好む物陰など湿気の多い場所に重点的に散布します。

○カタツムリ類は夕方から朝にかけて活動します。夕刻に散布すると効果的です。

作物名	適用 病害虫	希釈 倍数	使用 方法	使用 時期	本剤の 使用回数	適用 場所	散布 液量	メタルデヒドを含む 農薬の総使用回数
かんきつ	カタツムリ類 ナメクジ類	200	散布	収穫 30 日前まで	3回 以内		200～ 700L/ 10a	6回以内（但し、 散布及び株元散布 は合計3回以内）
ナメクジ類、カタ ツムリ類が加害す る農作物等	カタツムリ類 ナメクジ類	100 ～ 200	作物にか からない ように土 壌表面散 布する		6回 以内	ほ場周辺 雑草地の 生息地	100～ 300L/ 10a	6回以内

（表：かんきつのみ抜粋）

【マイキラーL】（普通物）

○マイキラーの有効成分メタアルデヒドを30%から10%にしたもの。

○希釈倍数以外は、マイキラーと使い方は同じ。

作物名	適用病害虫	希釈倍数	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	適用場所	散布液量	メアルデヒドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	かっつり類 ナメクジ類	200	散布	収穫 30 日前まで	3回以内		200～700L/ 10a	6回以内（但し、散布及び株元散布は合計3回以内）
ナメクジ類、かっつり類が加害する農作物等	かっつり類 ナメクジ類	200～400	作物にかからないように土壌表面散布する		6回以内	ほ場周辺 雑草地の 生息地	100～300L/ 10a	6回以内

（表：かんきつのみ抜粋）

【ナメククリーン3】（普通物）

○ナメクジ類・カタツムリ類を誘引し、摂食して効果を発揮するベイト剤です。

○速効性があり、青色の粒剤で散布したところがわかりやすい。

○雨や水がかかると効果が減少する。処理後2～3日は灌水をかけない。

○カタツムリ類が活動をはじめる夕刻や雨上がりに使用すると効果的です。

作物名	適用病害虫	使用量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	メアルデヒドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	かっつり類 ナメクジ類	1～3 kg/10a	株元 散布	収穫 30 日前まで	3回以内	6回以内（但し、散布及び株元散布は合計3回以内）

（表：かんきつのみ抜粋）

② 燐酸第二鉄粒剤（商品名：「スラゴ」）の利用

【スラゴ】（普通物）

○有効成分である燐酸第二鉄は天然に広く存在する無機化合物です。

○ナメクジ類・カタツムリ類に対して特異的に食毒効果を発揮します。

○ナメクジ類・カタツムリ類の被害がある全ての農作物に使用可能です。

○特別栽培農作物においても使用回数をカウントされない農薬です。

作物名	適用病害虫	使用量	使用方法	使用時期	適用場所
ナメクジ類、かっつり類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農作物等	アフリカマイマイ	3～5g/m ²	ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ及びヒメリンゴマイマイの発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置	発生時	温室 ハウス 圃場 花壇
	カタツムリ類	1～5g/m ²			
	ヒメリンゴマイマイ	5g/m ²			
	ナメクジ類	1～5g/m ²			